

検査案内書

アドバンテック株式会社（病理受託事業部）は、衛生検査所登録（東京都）として病理学的検査の受託を開始する事とし、医療の発展や検査の進歩に伴いこれまでの病理学的検査の領域をさらに発展させた細胞診検査、免疫組織学的検査等、より高精度な検査を受託いたします。

検査項目：病理学的検査

1. 病理組織標本作製

- 標本作製；包埋・薄切
- 各種染色
 - ヘマトキシリソエオジン染色
 - 特殊染色
 - 免疫染色
 - ISH (DNA-FISH、RNA-ISH)

2. 細胞診標本作製

- 標本作製：液状化細胞診標本
- 各種染色
 - パパニコロウ染色
 - 特殊染色
 - 免疫染色
 - ISH (DNA-FISH、RNA-ISH)

※特殊染色、免疫染色の詳細についてはお問合せください。

受領できる病理検査検体

1. 病理組織標本作製材料

- ① ホルムアルデヒド系固定材料（湿臓器）
- ② パラフィンブロックあるいは凍結ブロック
- ③ パラフィン切片あるいは凍結切片標本
- ④ 染色済みスライド標本

2. 細胞診検体

- ① 液状化細胞診検体
- ② 塗抹標本

弊社では感染性検体あるいは感染性の疑いのある検体はお取り扱うことができませんのでご注意ください。（微生物等の感染性が不活化処理された検体を除きます_例：ホルマリン固定済みで感染性の無いことを証明された検体）

検査依頼書及び検体ラベルの記載項目

病理組織検査をご依頼の際は専用の「病理検査依頼書」および容器をご使用ください。なお、依頼書およびラベルには下記事項を必ずご記入ください。容器名と臓器名称が不明確な場合は検体をお返しすることもございます。

1. 検体識別番号（匿名化されていること）
2. 検査依頼項目
3. 委託元の名称および医師の氏名
4. 検体情報（性別、年齢、臨床診断名、臨床経過、治療、臨床検査諸事項等）
5. 切除日時（固定日）、切除臓器名、切除数
6. 胃や肺など大きな組織を提出される場合は、切り出し部位の指示をご記入ください。
7. 検査結果等についてのお問い合わせの際は再度標本をご提出していただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
8. 検査を実施する上で、HE染色および特殊染色以外に各種染色・酵素抗体染色等が必要となった場合は、追加オーダーをいただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
9. パラフィンブロックで染色のみをご依頼される場合は、未染色標本作製の料金もご請求申し上げます。
10. 未染標本スライドで染色標本作製をご依頼される場合は、1染色2枚をご提出ください。
使用しなかったスライドはご返却いたしませんのでご了承ください。

検体送付先

当社へ検体を送付される場合は、下記宛てにお送りください。

住所 〒198-0005 東京都青梅市黒沢2-979-2 電話番号 0428-85-8601
アドバンテック株式会社 病理受託事業部宛て

検体提出方法

区分	検査項目	検査材料	検体採取容器※	検体保存条件		検査日数
				温度	時間	
病理組織検査	組織標本作製	固定材料	①②③	常温/冷蔵	1ヶ月	10~15日
		固定材料(脱灰)	①②③	常温/冷蔵	1ヶ月	10~20日
		パラフィンブロック	—	常温/冷蔵	—	7~10日
		凍結ブロック	—	冷凍	1ヶ月	7~10日
		パラフィン切片	—	常温/冷蔵	—	7~10日
		凍結切片	—	冷凍	—	7~10日
		染色済標本	—	常温	—	7~10日
		写真撮影	染色済標本	常温	—	5~7日
細胞診検査	細胞診標本作製	液状細胞診検体	④⑤	常温/冷蔵	1週間	7~10日
		塗沫標本	—	常温/冷蔵	1週間	7~10日
	写真撮影	染色済標本	—	常温	—	5~7日
	デジタル画像撮影	染色済標本	—	常温	—	7~10日

注意事項 :

『固定組織』

1. 摂出した組織を自家融解、乾燥から防ぐため、直ちに固定液を充填した容器に入れ固定してください。組織を固定液に入れた日時を必ず依頼書にご記入ください。
2. 固定液は、組織の10倍を目安とし十分量を使用してください。
3. 胃生検等の微小組織片をご提出の場合は、微小組織用カセットに入れるあるいは濾紙等に貼りつけ固定液へ入れてください。
なお、複数個ご提出の際は、組織の識別が可能なようにナンバー等を表示してください。
4. 極微細組織などで、検査の材料の有無が不明の検体につきましては、お客様による再確認のため、検体を返却させていただく場合がございます。
5. 消化管は切り開いてゴム板などに粘膜面を上側にしてピンで貼り付けし、十分に固定したのちご提出ください。
6. 肺は固定液を十分に注入してから固定液に浸漬してください。
7. 乳腺などの大きい組織は割を入れ、しっかり固定液が浸透するように処理をしてください。

『パラフィンブロック』

1. すでに作製済みのパラフィンブロックを、破損のないようガーゼなどで包みビニール袋等に入れてご提出ください。

『凍結ブロック』

1. 凍結ブロック作製後、長期間保存された検体は標本作製が困難となるため、新鮮な状態で送付ください。
2. コンパウンドが溶解しないようにドライアイスを十分量入れて送付ください。

『未染標本スライド』

1. 未染標本スライドにより各種染色をご依頼される場合は、スライドグラスにナンバー等を記入の上、切片が傷つかぬようにしてご提出ください。

2. 染色標本作製や酵素抗体依頼で染色によっては染色中に切片がはがれたりする場合があります。その時は、未染標本スライドの再度提出をお願いしますのでご了承ください。
3. 免疫染色をご依頼の場合は薄切後速やかにお送りください。時間が経過した標本は染色が得られないことがあります。

*上記検査項目外は別途ご相談ください。

*本検査は緊急性を要するものではないため「医療機関に緊急報告を行うこととする検査値の範囲基準」はございません。

*作製の再委託は行いません。

容器一例：

①



②



③



④



⑤



検査ご依頼時の検体送付方法

検体の輸送に関しては、臨床検体の輸送を取り扱う輸送会社をご利用いただき、臨床検体輸送専用ボックスに梱包し送付ください。

必要に応じて、弊社契約の検体輸送業者をご案内いたしますのでご相談ください。

依頼書に、必要事項をご記入のうえ、検体と共にご送付ください。（送料はお客様ご負担でお願いします。）

梱包の際、検体輸送専用輸送箱に入れて常温（あるいは冷蔵、冷凍）にて本所に発送してください。発送日の翌日に到着するよう手配いただき、土日祝日は受け取り不可のためご注意ください。

検体の保存温度

常温（通常）とします。ただし、冷蔵あるいは冷凍輸送が必要な場合は個別にご相談いたします。

報告形式

検査結果は、ご依頼の染色済標本の返送をもって行います。同時に陽性コントロール標本等をご希望の場合は、お問い合わせください。

弊社形式による報告書を添付します。

検査終了後の検体の取り扱い

検査終了後の残検体は、以下の要領で廃棄・保管または返却させていただきます。

（送料は検査費用と合わせてご請求させていただきます）

- 残湿臓器 : 廃棄（ご指定により返却します）
- パラフィンブロック : 返却
- 染色スライド標本 : 返却

結果に関するお問い合わせ

メールによるお問い合わせ：pathology-adv@advant-t.com

お電話によるお問い合わせ：0428-85-8601（9時から17時45分までにお願いします）

検査依頼に関するお問い合わせ

アドバンテック株式会社では臨床検査分野の病理検査の業務を幅広く受託し、お客様のニーズに応えるべくお客様の立場になって確かな検査結果を提供します。価格並びに検査内容等に関しては、お問い合わせ下さい。